

2024年10月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社AB & Company

(証券コード：9251)

会社概要

代表取締役



市瀬 一浩

2003年に山野美容専門学校を卒業後、青山の美容室にてスタイリストとして勤務を開始。低賃金・長時間労働が常態化する美容室業界に疑問を抱き、業界変革を目指して2009年に独立、創業。

企業理念

「スタイリストファースト」を信念にお客さまに幸せと喜びを提供します

美容室業界の課題であるスタイリストの長時間労働、低賃金、高離職率を是正し新たなキャリアデザインを創造することでスタイリスト自身の喜びに繋げることがより良いサービスの提供、延いてはその先のお客様の幸せに繋がると考えます。

事業概要

HAIR SALON
Agu.

直営美容室運営
事業



直営店舗の
運営

フランチャイズ
事業



FC店舗の
運営サポート

インテリアデザイン
事業



美容室を中心とした
店舗デザイン、設計、施工

2024年10月期1Q 連結サマリ（前期比）

- ・売上収益は前期比+7.7%と堅調に推移
- ・インボイス制度の影響（経過措置利用に伴う売上原価増）を主要因として売上総利益率が悪化（48.8%→47.2%）
- ・成長投資を優先し、前四半期（2023年10月期4Q）に直営店舗を多く出店したことから、一時的に営業利益率は悪化しているものの計画通りの利益進捗

	1Q				
	2023/10期		2024/10期		前期比
	実績	売上収益対比	実績	売上収益対比	
売上収益	3,890	-	4,190	-	7.7%
売上原価	1,992	51.2%	2,210	52.7%	11.0%
売上総利益	1,897	48.8%	1,979	47.2%	4.3%
販管費	1,509	38.8%	1,653	39.4%	9.6%
その他収益	10	0.2%	12	0.3%	18.0%
その他費用	2	0.0%	3	0.1%	42.3%
営業利益	397	10.2%	335	8.0%	▲15.6%
当期利益	242	6.2%	213	5.1%	▲12.1%
調整後EBITDA*	542	13.9%	488	11.7%	▲10.0%

*調整後EBITDAはEBITDAから「使用権資産の減価償却費」を差し引いて算出（使用権資産の減価償却費は実質的な家賃に相当するため）

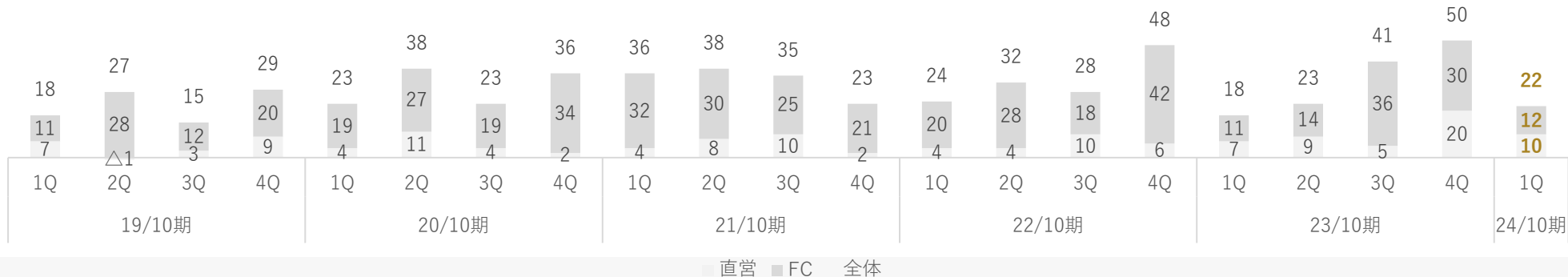
国内店舗数 推移

直営・FC合わせて22店舗の店舗純増。計画通りの進捗

店舗数



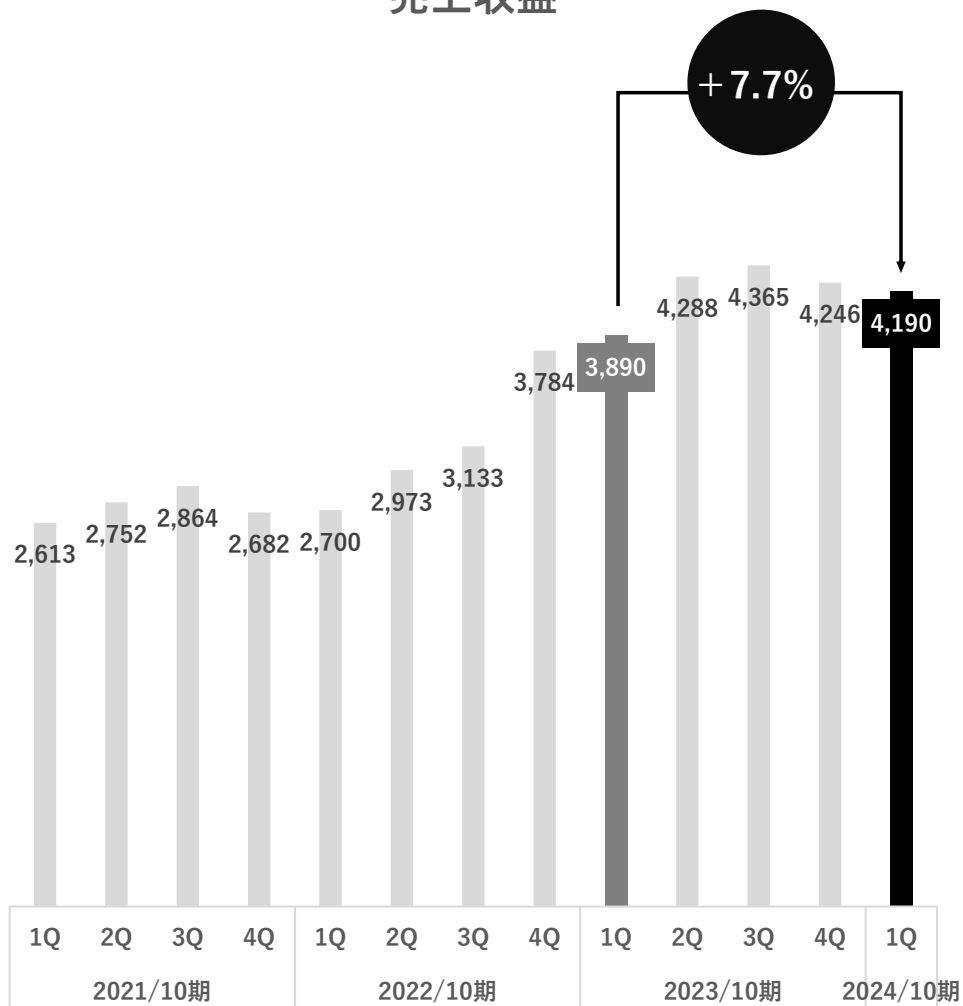
店舗純増数



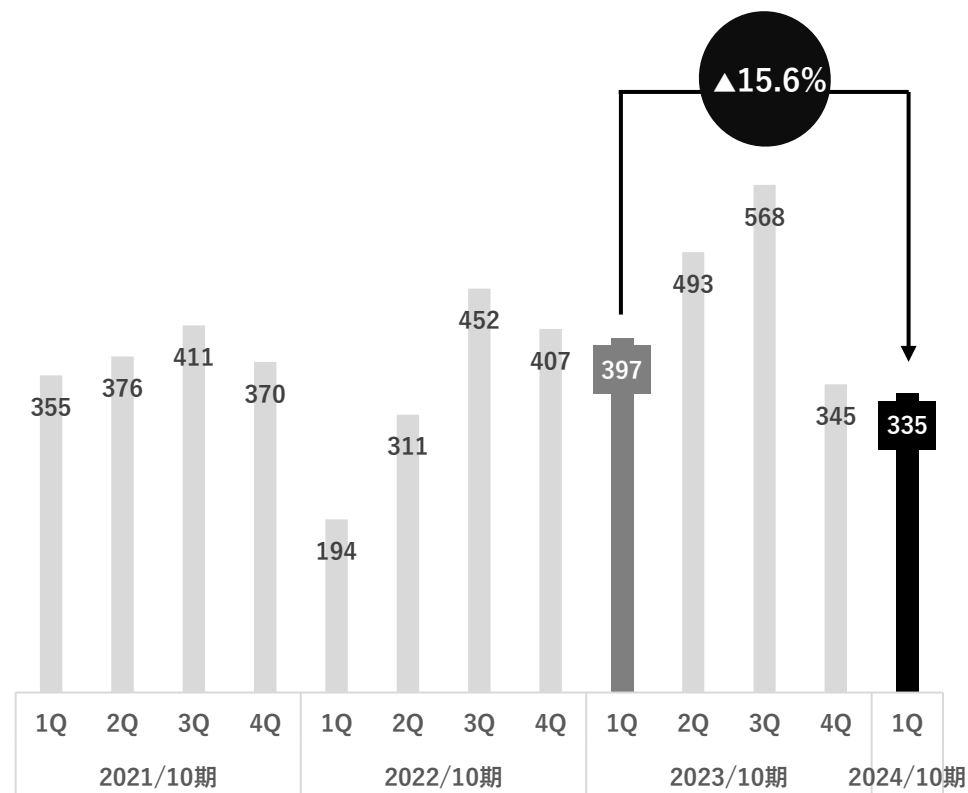
四半期実績推移

(単位：百万円)

売上収益



営業利益



店舗売上KPI 実績推移 (1Qベース)

- ・顧客単価の前年比伸長が顕著 (直営:+3.5%、FC:+3.6%)
- ・メニュー (施術内容、単価) の見直しを部分的に実施することで平均顧客単価が上昇

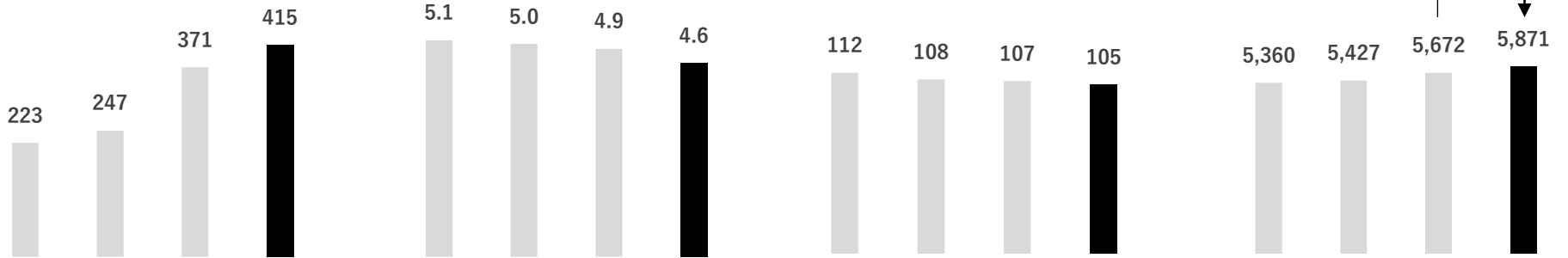
国内店舗数

国内店舗あたり
スタイリスト数

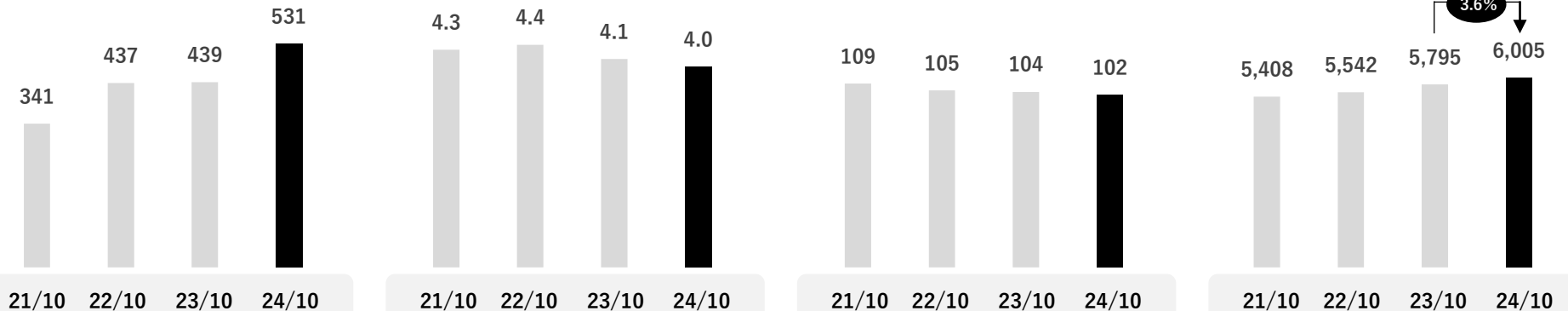
スタイリストあたり
顧客数

顧客単価

直営



FC



事業セグメント

美容室運営 HAIR SALON Agu. 等

直営美容室運営 事業



直営店舗の運営

フランチャイズ 事業



FC店舗の
運営サポート

店舗内装のデザイン・工事

インテリアデザイン 事業



美容室を中心とした
店舗デザイン、設計、施工

セグメント概況（前年同期比）

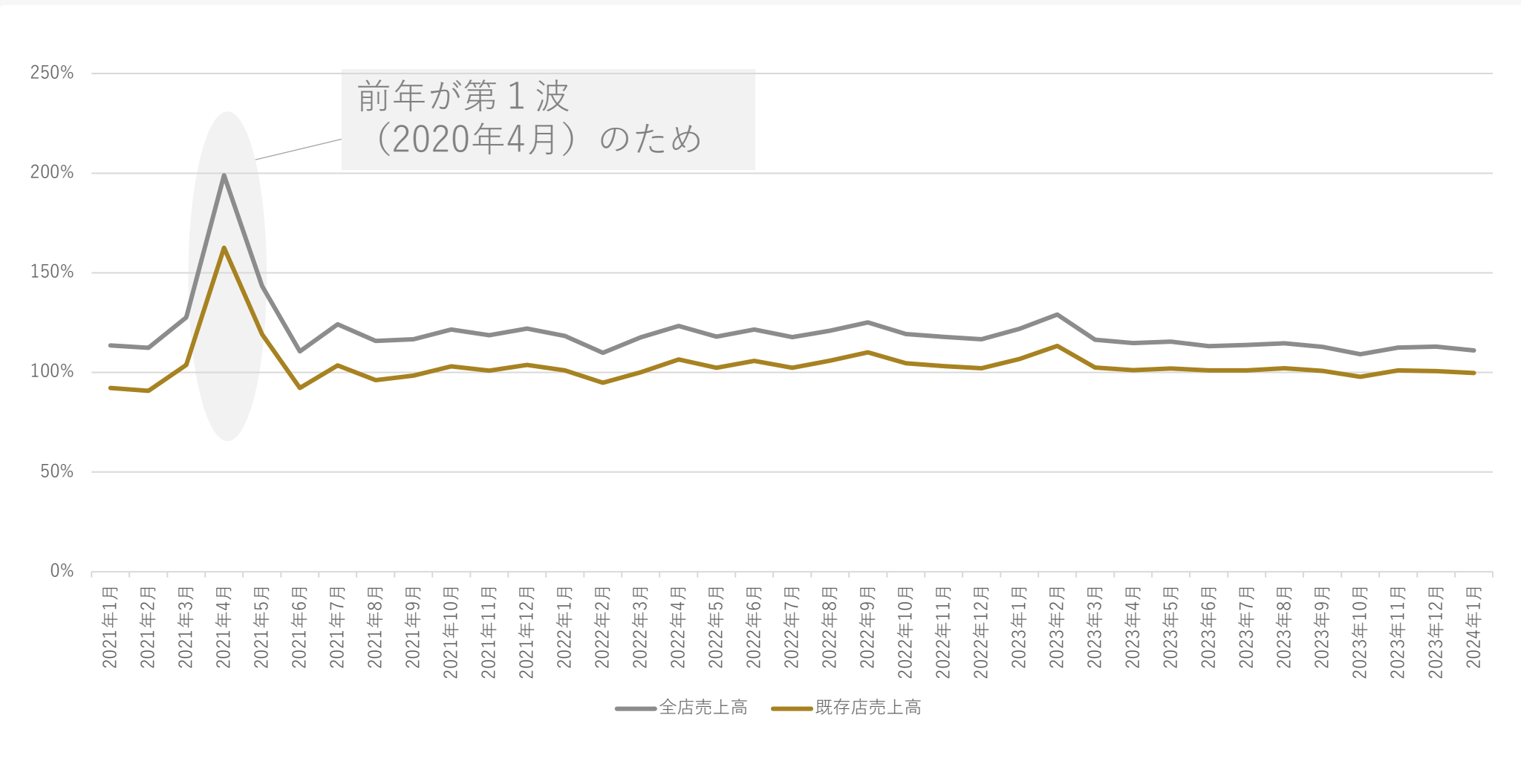
直営美容室運営事業におけるセグメント利益が大幅にマイナスとなっており、前述の通りインボイス制度の経過措置利用による売上総利益率の低下と、成長投資を優先した新規出店推進が主な要因

	直営美容室運営事業			フランチャイズ事業			インテリアデザイン事業		
	1Q			1Q			1Q		
	2023/10期	2024/10期	増減	2023/10期	2024/10期	増減	2023/10期	2024/10期	増減
売上収益	3,298	3,498	6.1%	529	627	18.4%	427	523	22.6%
外部売上	-	-	-	302	367	21.7%	289	324	12.1%
売上原価	1,903	2,080	9.3%	34	47	38.4%	321	401	24.8%
売上総利益	1,395	1,417	1.6%	495	579	17.0%	105	122	15.9%
売上総利益率	42.3%	40.5%	▲ 1.8	93.5%	92.4%	▲ 1.1	24.7%	23.4%	▲ 1.4
販管費	1,325	1,447	9.3%	284	336	18.2%	80	98	22.0%
その他収益	2	5	142.0%	7	9	15.3%	0	0	57.7%
その他費用	2	2	14.4%	0	0	2828.2%	0	0	-
セグメント利益	70	▲ 27	-	218	252	15.2%	25	24	▲ 3.2%
セグメント利益率	2.1%	▲ 0.8%	▲ 2.9	41.3%	40.2%	▲ 1.1	5.9%	4.6%	▲ 1.2
【参考】経営指導料調整後利益	173	86	▲ 49.9%	311	343	10.3%	-	-	-

全店・既存店 店舗売上高（前年同月対比）

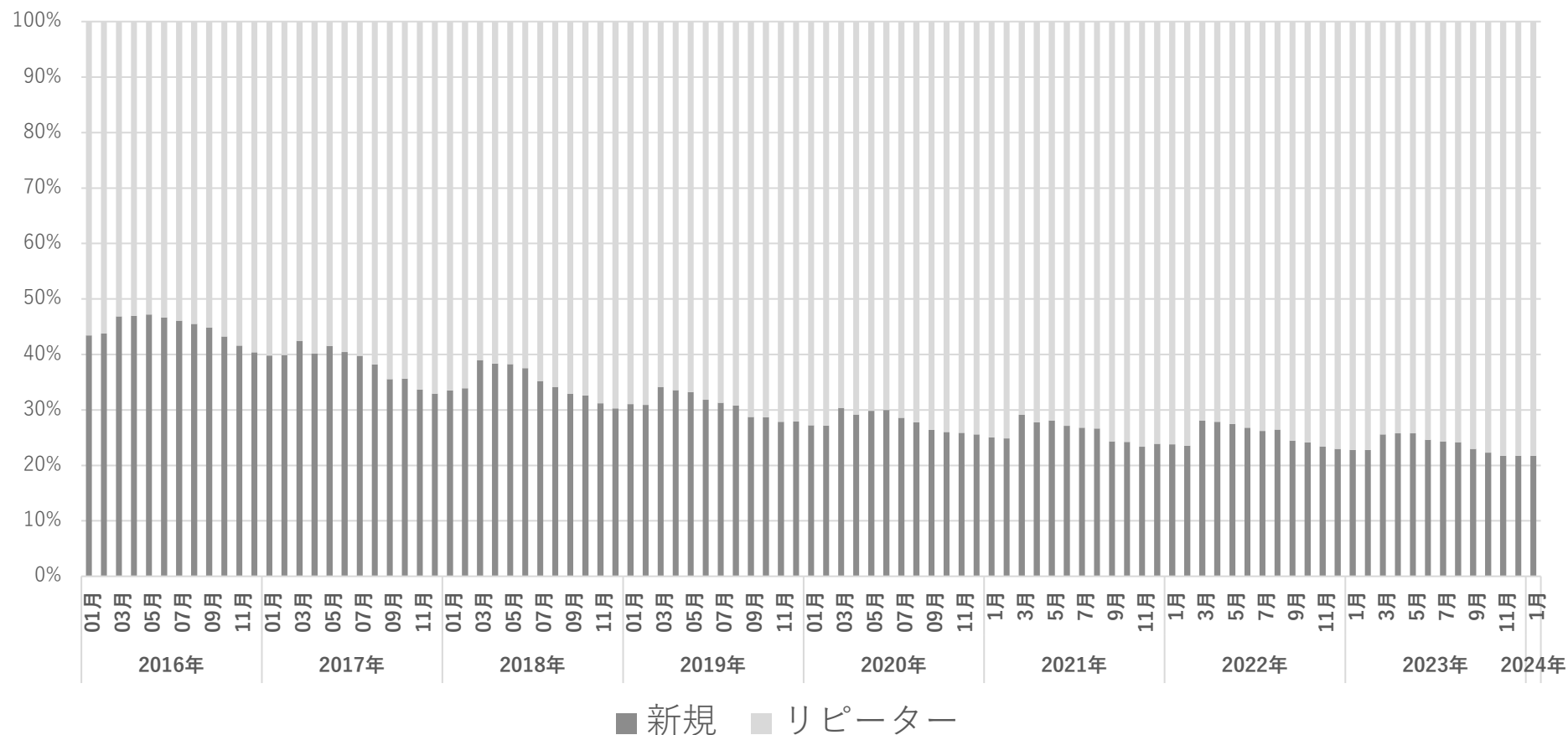
全店売上高：直近は110%～115%前後で推移

既存店売上高：100%前後で推移



リピーター比率

継続的にリピーターは積み上がっている状況



BS概況 (IFRS)

(金額単位：百万円)

	2023/10 期末	2024/10 1Q	増減
現金及び現金同等物	2,325	2,345	19
営業債権及びその他の債権	938	880	▲ 57
棚卸資産	131	203	71
その他の流動資産	795	411	▲ 383
流動資産合計	4,191	3,840	▲ 350
有形固定資産	1,497	1,544	46
使用権資産	4,678	4,809	131
のれん	8,488	8,488	0
無形資産	4,390	4,387	▲ 3
その他の金融資産	588	607	19
繰延税金資産	578	577	0
その他の非流動資産	56	57	1
非流動資産合計	20,278	20,473	195
資産合計	24,469	24,314	▲ 155

	2023/10 期末	2024/10 1Q	増減
営業債務及びその他の債務	1,074	990	▲ 84
契約負債	53	49	▲ 4
借入金	1,657	1,865	208
リース負債	1,434	1,453	18
未払法人所得税等	406	62	▲ 343
その他の流動負債	515	516	0
流動負債合計	5,142	4,938	▲ 204
借入金	5,372	6,385	1,013
リース負債	3,179	3,290	110
繰延税金負債	1,297	1,297	0
引当金	785	805	19
非流動負債合計	10,635	11,778	1,143
負債合計	15,778	16,716	938
資本金	194	194	0
資本剰余金	5,002	5,001	0
利益剰余金	3,598	3,389	▲ 208
自己株式	▲ 111	▲ 995	▲ 884
その他の資本の構成要素	7	7	0
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,691	7,597	▲ 1,094
資本合計	8,691	7,597	▲ 1,094
負債及び資本合計	24,469	24,314	▲ 155

※IFRSを採用していることから、将来に渡って支払う予定の家賃を物件の使用権利とみなし、「使用権資産」（資産側）、「リース負債」（負債側）としてBSに計上されている

キャッシュフロー計算書

(金額単位：百万円)

	2023年10月期 1Q	2024年10月期 1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期利益	357	294
減価償却費及び償却費	486	536
営業債権及びその他の債権の増減	114	57
法人所得税の支払額	▲ 267	▲ 405
その他	▲ 135	281
	555	764
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	▲ 148	▲ 232
無形資産の取得による支出	0	▲ 1
差入保証金の差入による支出	▲ 16	▲ 19
その他	▲ 2	▲ 6
	▲ 166	▲ 260
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	733	▲ 103
長期借入金の調達による収入	0	1,500
長期借入金の返済による支出	▲ 56	▲ 166
リース負債の返済による支出	▲ 352	▲ 392
支払配当金	▲ 421	▲ 422
株式の発行による収入	26	0
自己株式の取得による支出	0	▲ 884
	▲ 71	▲ 484

IFRS適用による留意点

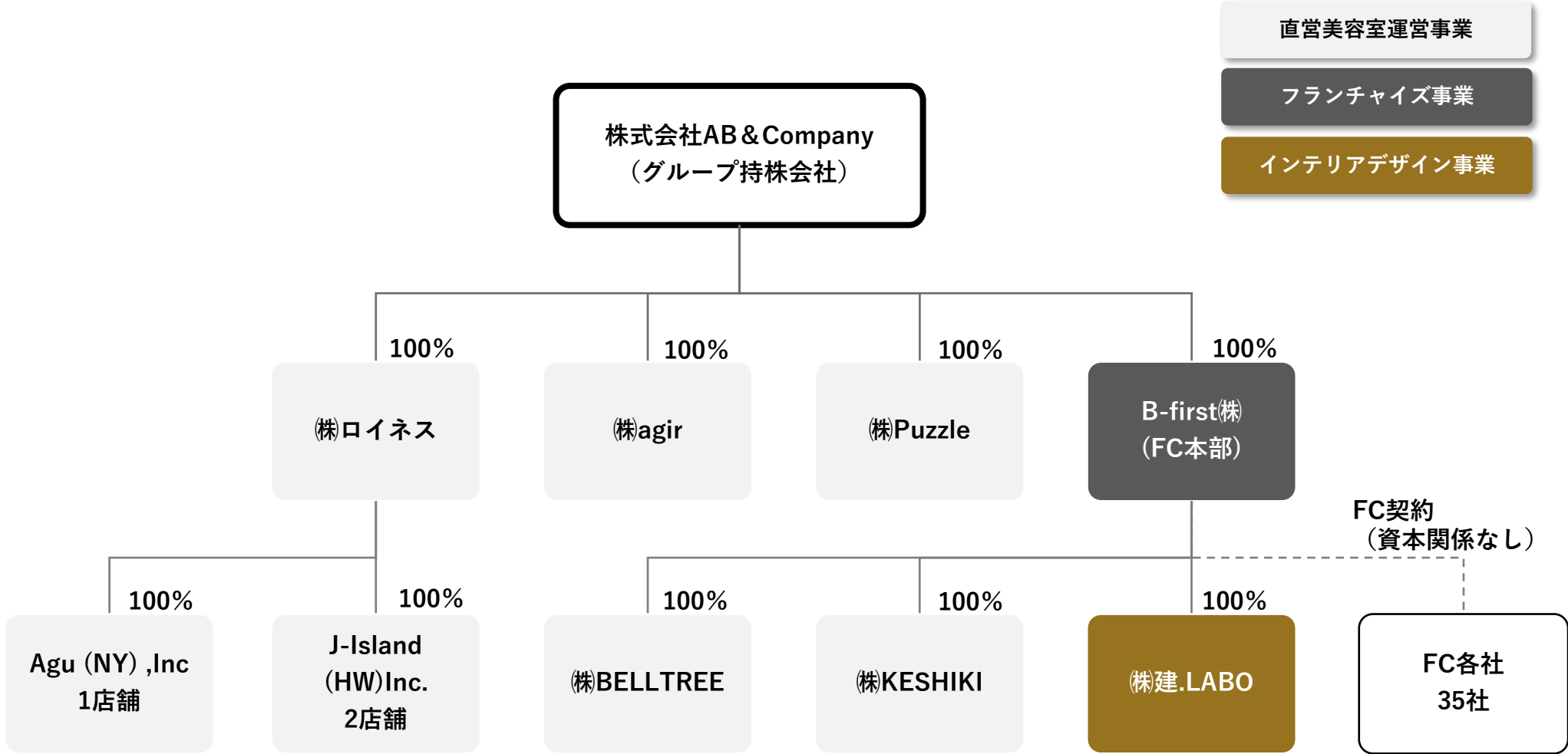
- IFRS基準では実質的な家賃（使用权資産の償却）が減価償却費に含まれております

(2024年10月期1Qの実質家賃：369百万円)

- 実質的な家賃支払いに伴うキャッシュアウトは「リース負債の返済」として計上されております

APPENDIX

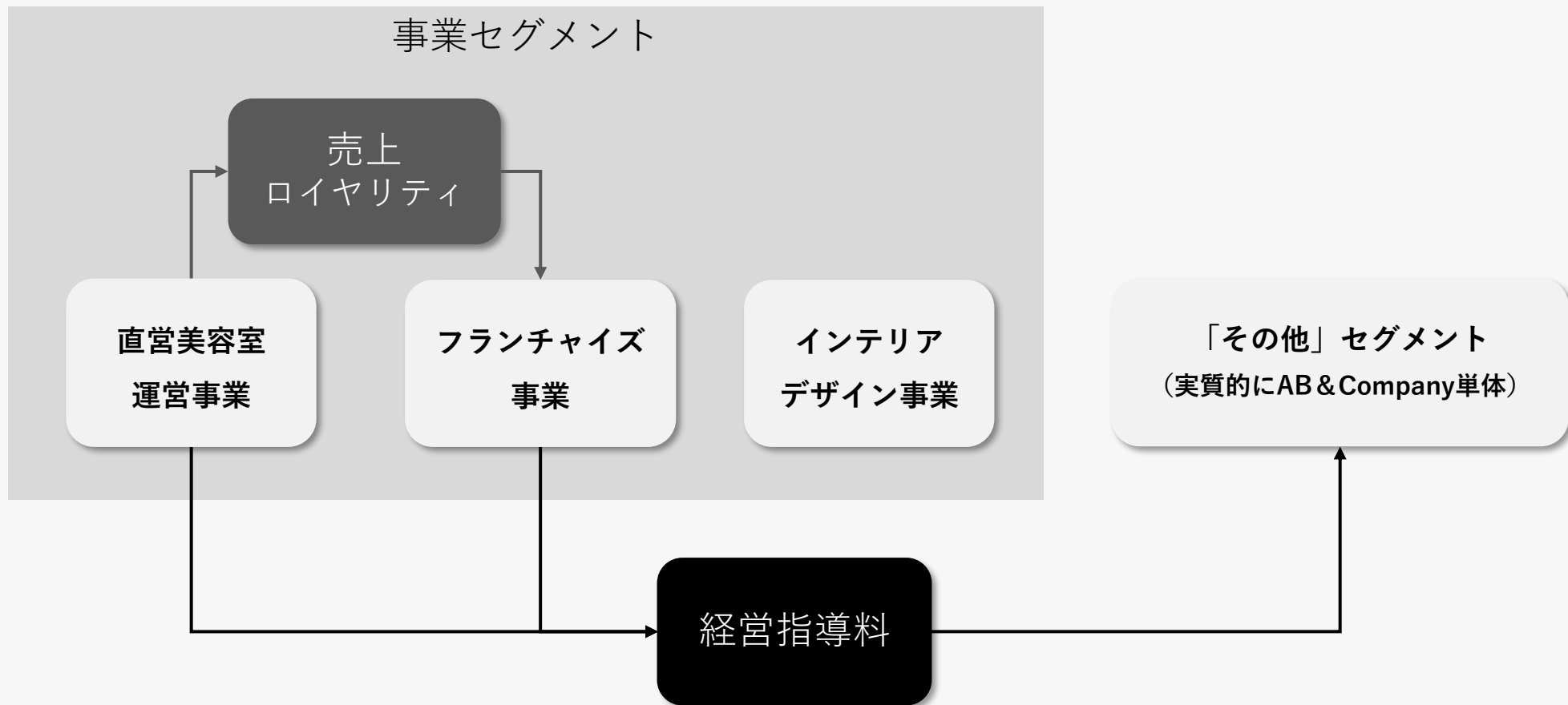
AB & Companyグループ構成図



【参考】セグメント構造

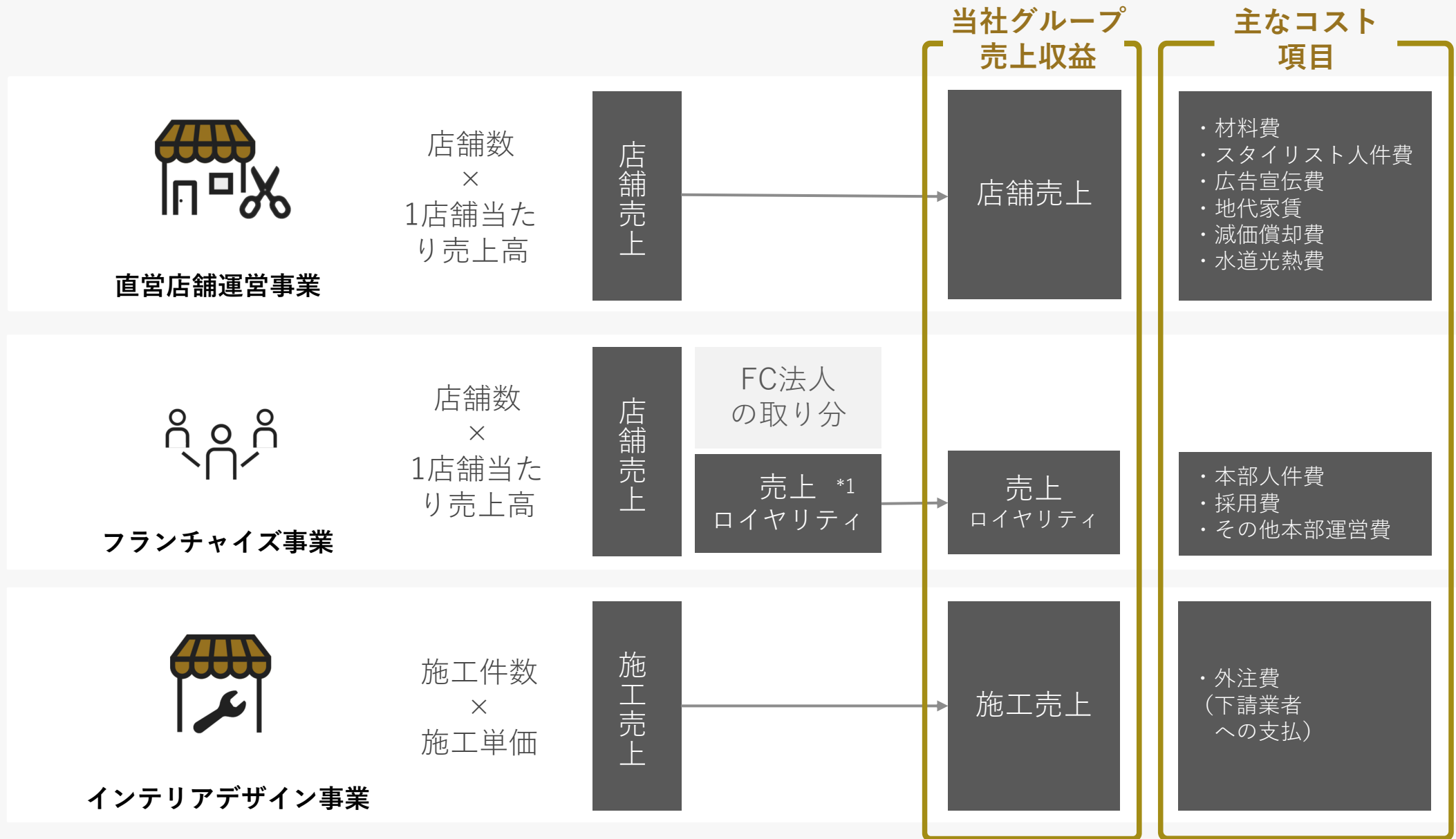
*1

直営美容室運営事業からフランチャイズ事業に売上ロイヤリティを、また、それらの2事業から「その他」セグメントに経営指導料を支払っている



*1 連結グループ内取引であるため、連結ベースでの財務数値には影響を与えない

セグメント毎の収益モデル



*1 フランチャイズ事業の売上収益は売上ロイヤリティに加え、「その他収入」（仕入代
行・記帳代行・POSリース・スタイリスト採用代行等。概ね店舗数と連動）で構成される